

国土交通省中部地方整備局

天竜川上流河川事務所遠山川砂防出張所

天竜川上流工事安全協議会遠山支部

平成27年度第10号(平成28年/2月発行)

カモシカ通信



まだまだ寒さが厳しく、春の訪れが待ち遠しい時期となってきました。
今月のカモシカ通信は、平成27年度 天竜川水系遠山川砂防工事の施工状況に関する報告と、和田諏訪神社(南信濃)の御柱大祭の日程、行事の流れ等について紹介します。



残土処理地（八重河内川下流側）が完了しました

(株)近藤工務店が、天竜川水系遠山川砂防管内整備工事で八重河川保全区域内の法面整形を行い、その後(株)ヤマウラが、平成26年度 天竜川水系ツベタ沢砂防堰堤工事により生じた切り土や岩砕を運搬、埋め戻し・締固めを行い残土処理地の一部(八重河内地先)の整備を完了しました。

引き続き年度末までには上流部も施工しますのでしばらくの間近隣住民の皆様にはご迷惑をおかけしますがご理解・ご協力をお願いします。

ヤマウラの竹内です。

施工は土砂運搬、敷均しを中心に各業者との連携をとり、地域住民の皆様の安全を第一に進めてきました。

もう少しの期間、工事車両が通行致しますので、ご協力の程、宜しくお願いします。

施工前

施工後



株式会社 ヤマウラ



現場代理人 竹内 孝広

近藤工務店の中島です。

施工は主に残土処理地周囲の法面整備を行い、丸太筋工、法面植生工を完了しました。

施工中は地域の皆様のご協力により安全に施工が行えました。

今後ともご協力の程、宜しくお願いします。

株式会社 近藤工務店



現場代理人 中島 和也

平成28年度 和田諏訪社御柱祭が行われます

御柱祭

平成28年度 御柱大祭日程表

平成27年 12/11(金) 前御柱納め式

平成28年 1/17(日) 斧入れ式

2/14(日) 全戸縄供出 70m

2/21(日) 和田・南和田地区 縄ない・安置

3/12(土) 山出し式

3/27(日) 室掘式 行列予行演習

4/3(日) 里曳き 建御柱祭

御柱行事の流れ

献木見定式

次々回(十三年先)の御柱を定める式。献木者の親戚、自治会、神社氏子らが参列し、神棚と木前で祭事を行います。この式が済まない場合は、その年の御柱に斧を入れてはならないことになっています。

前献木納式

前回の御柱を境内から取り除きます。役目を終えた御柱は、社殿の修復などに利用されます。

献木斧入式

その年の御柱に使う木を切り倒します。見定式同様に神事が行われ、杣役の森林組合員が神斧を幹に当てる所作を行います。神事ののち、木はチェーンソーによって切り倒されます。

曳縄供出

各自治会長が住民から縄用の藁を集めます。

縄ない式

新町、本町の氏子が、集めた藁で70mの縄をないます。

山出式

御柱を山から下ろし、遠山中学校前に移します。山の急斜面を引き落とし曳航する場面が、見せ場の一つです。

室掘り

御柱を建てるための穴を掘り、予行演習を行います。

里曳・建御柱(御柱大祭)

遠山中学校前に約100人の行列が勢揃いし、神社までの1.5kmを「御柱音頭」を囃しながら曳航します。行列の順序は、祓い神、神、紋付、はかま姿の村長、神職、氏子総代、自治会長、国旗、宝船、五色の旗、弓、刀、槍、薙刀、神前旗、神社旗、三種神器、若党、進行係、神職、神輿、金銀の采配を持つ音頭、祢宜、室掘り、御柱立て、縄とび、梶子の順。

諏訪神社境内に曳き込まれた御柱は、ワイヤーを使って建てられ、最後に「てっぺん野郎」と呼ばれる若者が頂上に御幣を打ち込みます。



山出し前の御神木

